

練馬区議会議員(無所属)

かとうぎ 桜子

区政レポート



2013 年 10 月号

〒178-0063 練馬区東大泉 3-1-18-102

電話 03-3978-4154 FAX 03-3978-4158

HP <http://www.sakurako-nerima.com/>

メール sakurako_happy_society@yahoo.co.jp



メールマガジン発行中！



9月7日、区政報告会を実施しました。

区政報告会で、区民の方からもご発言いただきました

9月7日、区政報告会を実施しました。この報告会では、まず前半の1時間、6月定例会で私が一般質問した内容のうち、ご参加いただいた方々が「特に聞きたい」と選んでくださった項目(精神科の医療、災害時の福祉対策、生活保護、産科医療)についてご説明しました。

後半の1時間は、ご参加いただいた区民の方から、日々課題を感じて取り組んでいるテーマについてお話しただくという形をとりました。今回はTTPの問題について、大泉在住のMさんにお話していただきました。

TTPに参加することで日本社会が活性化していく面もあるのではないかと印象を持たれる方もいらつしやるかもしれません。でも、実際にはアメリカの基準にあわせて変更を迫られる部分が多く、日本にとつてのメリットはほとんどありません。例えば添加物の基準が緩められるなど食の安全を脅かされること、健康保険の対象にならない医療が拡大していくなど、私たちの健康や安全を守るために必要な規制の緩和が行われる懸念があります。もっと私たちの生活に関わる問題として認識し、チェックしていく必要があることを話し合いました。

今後も、区政報告会では、さまざまな活動をされている区民の方からご発言いただく機会を作っていきたいと考えています。次回12月8日の報告会の際には、中高年の就労についてお話をいただく予定です。詳しい日時などはレポートの最終ページをご覧ください。

二〇一三年十月

かとうぎ 桜子

区政報告会を開催します

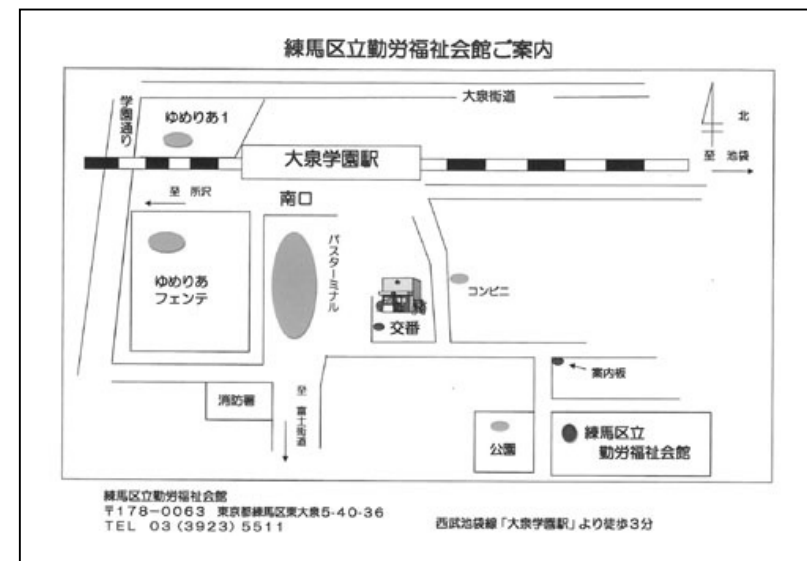
2013年12月8日(日)

午後2時～4時

勤労福祉会館(大泉学園駅南口)にて

秋の区議会では、今回のレポートでご報告した保育の問題のほか、福祉の視点からの災害対策、精神障害のある方の保健福祉、グループホーム・ケアホームのこと、こどもの虐待の問題など、課題を指摘しました。詳しい内容をご報告する区政報告会を上記の日程で実施いたします。

また、後半の時間は、中高年の就労の問題に取り組んでいる区民の方からお話を伺う予定にしております。ぜひご参加ください。



1月中旬に宮城県気仙沼に出かける予定です。

皆さんにもカンパをお寄せいただいている気仙沼復興商店街との交流、また気仙沼にお住まいの住民の皆さんとの交流をするために、来年1月中旬に気仙沼に1泊で出かける予定です。

詳細は調整中ですが、今回は気仙沼から船で25分の距離にある大島での活動も行う予定です。ご関心のある方はかとうぎ桜子事務所までお問い合わせください。

また、気仙沼復興商店街へのカンパは引き続き募っております。ご協力いただける方は、「気仙沼募金」とご記入の上、以下の口座にお振込みください。

[郵便振り込み・口座番号]

00130-2-496362 市民ふくしフォーラム

かとうぎ桜子プロフィール

- 1980(昭和55)年生まれ。桐朋女子中学・高校、慶應義塾大学文学部を卒業。大学在学中にホームヘルパー2級の資格を取得、さらに福祉の勉強をするために上智社会福祉専門学校(夜間)に学ぶ。
- NPOにて介護の仕事をする中で、地域福祉・地域社会にさらに深く関わることをめざし、2007年、区議会議員選挙に初挑戦、初当選。
- 2010年3月立教大学大学院・21世紀社会デザイン研究科を修了。
- 2011年4月、練馬区議会議員選挙で、2期目に当選。
- 議会運営委員会、区民生活委員会、医療・高齢者等特別委員会に所属。



保育園待機の解消とあわせて質の確保が必要

2013年4月1日現在、練馬区の保育園待機児数は578名。リーマンショック以降増えている待機児が一向に減りません。一方、待機が多く発生していた横浜市は待機児ゼロを実現したと言われています。しかし、実は、詳しく見ていくと、横浜の方式には問題点もたくさんあります。保育園の質が下がり、事故が起これると、小さな赤ちゃんは命に関わる事態も起これ得ます。保育園の数を増やすこととあわせて、質の確保も忘れてはなりません。

保育の環境の確保が必要

横浜市は待機児解消のために、2010年度から2012年度の3年間で144か所、1万621人分の認可保育園を増やしたそうです。一方で練馬区は同じ3年間で増やした認可保育園12園、1000人分ですから、横浜市のほうが数を増やすための努力をしてきたといえるでしょう。

ただし、横浜市は保育園の数を増やすために、たとえばビルの1、2階のスペースを認可保育園にするといった方法や、鉄道高架下に園庭を含む保育園を作るといった、環境の面では疑問を感じる整備も進めているのです。私は、横浜市の鉄道高架下の園を見に行ってみました。電車が通ればかなりの音がします。建物には防音対策をするにしても、日も当たりづらく音もうるさい高架下に園庭までがある点には疑問を感じました。

今、このような形で、保育環境の基準を緩めて待機児解消を図ろうということが、国でも議論されています。たとえば、面積の基準を緩和して、同じ面積に今まで以上にたくさんの子を受け入れる体制を作ることが検討されたり、保育士の資格を持ったスタッフでなくても対応できるようにして人手の確保をしたりするという検討です。

でも、面積基準が緩和されれば、保育施設内のごどもの人数が増えるだけではなく、それに伴ってスタッフの数も増えるので、かなり狭くなってしまいます。狭いスペースで長時間の生活を送るとなれば、こどもにとってもストレスになるので、他のこどもに嘔みつくなどの事故も起これやすくなります。

また、小さな赤ちゃんはお昼寝中の見守りをきちんと行わないと、呼吸ができずに死に至るなどの事故を招く場合があります。ゆったりとしたスペース確保と、こどもの成長に合わせた対応のできるスキルを持ったスタッフの確保は、こどもの命にもかかわる重要なポイントになるのです。

横浜市では、待機児のカウントの仕事方も変更している

横浜市はそのほかに、待機児のカウントの仕方を緩めているという問題点もあります。

たとえば、保育園に申し込んだものの入園できず、やむを得ず育児休業を延長するという例がありますが、練馬区の場合にはこのような例は待機児として数えています。ところが、横浜市は2011年度から、こうした例は待機に含まなくなりました。

他にも、本来急な用事ができたり、親御さんの体調が悪いなどの事情のある人が使うために用意されている「一時預かり」というサービスを保育園の代用として利用せざるを得ないという人がいますが、横浜市ではこのような代替手段を用いている人も待機に含んでいません。

このように、実際には保育園に入れなくて困っている人を待機の対象から外すということをやっているので、実際に小さなお子さんご家庭の持つニーズとはかけ離れた対応をしている場合もあると考えられます。

「待機児ゼロ」を信じて転居してみたら実態は違っていた、ということも起こりかねません。実

態を糊塗するようなやり方は問題です。

横浜市の待機児ゼロ対策には、このような問題点がありますので、手放しに「横浜市を見習って同じように対応しよう」ということになってはいけません。練馬区は、待機の実態をごまかさず把握したうえで、保育の質を確保した待機児対策をするようにと求めました。

これに対して区は、「待機児のカウントの仕方を緩めることは考えていない」「今後、都や国が示している新たな事業を活用して、小規模保育等を整備する際にも、保育士の有資格者の数をしっかりと確保するように事業者に求めていく」ということでした。

国は、今後4年間で待機児をゼロにするという目標を掲げています。実際のところ、両親がフルタイムで働いていても保育園に入れない実態があり、ましてや多様化する就労形態にあわせた対応はまだまだ十分にできていません。こうした課題に早急に取り組むことはとても重要ですが、小さなこどもが日々過ごす環境が悪くなることに目をつぶることなく、環境整備にもしっかり目を光らせる必要があると考えています。

横浜市における保育園の待機の状況（横浜市ホームページより）（単位：人）

	2010年4月	2011年4月	2012年4月	2013年4月	2013年-2012年
就学前児童数	193,584	192,861	191,770	190,106	▲ 1,664
保育所申込者数(A)	41,933	44,094	45,707	48,818	3,111
入所児童数(B)	38,331	40,705	43,332	47,072	3,740
入所保育児童数(C)=(A)-(B)	3,602	3,389	2,375	1,746	▲ 629
横浜保育室等入所数(D)	1,020	1,136	1,117	877	▲ 240
横浜保育室	989	1,028	965	716	▲ 249
家庭的保育事業	19	52	59	84	25
幼稚園預かり保育	12	23	5	3	▲ 2
事業所内保育	—	0	19	22	3
一時保育・乳幼児の一時預かり施設	—	33	69	52	▲ 17
育休関係(E)(*)(あ)	—	277	186	203	17
主に自宅で求職活動されている方(F)(*)(い)	—	—	213	100	▲ 113
特定保育園のみの申込者など(G)(*)	1,030	1,005	680	566	▲ 114
待機児童数(H)=(C)-[(D)+(E)+(F)+(G)]	1,552	971	179	0	▲ 179

※上記のうち、（あ）（い）は、練馬区では待機児としてカウントされている。

※表の中の文言の説明(横浜市のホームページより抜粋)

- ・育休関係: 4月1日に育休を取得されている人
- ・主に自宅で求職活動されている方: ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している人
- ・特定保育園のみの申込者など: 1か所しか申し込んでいない人、2か所以上申し込んで内定した保育所があるが第1希望等の保育所しか入園を望んでいない人、申し込みした園や自宅の近くに入所可能で空きがある保育施設があるが入所を希望されない人など

練馬区の待機の状況

		2012 年 4 月	2013 年 4 月
入園希望で入れなかった人 (A)		1041	1241
認可外等保育	保育室	31	22
	認証保育所	326	391
	家庭福祉員	70	72
	預かり保育	0	0
	認定こども園	0	11
	小計(B)	427	496
特定園のみ希望		91	167
待機児童数 (A)-(B)-(C)		523	578